

## 日本ジオパーク全国大会開催!

10月25日～27日に日本ジオパーク全国大会2017が男鹿半島・大潟ジオパークで開催されました。全国大会には地元市民や全国のジオパーク関係者など約1千人が参加し、秋田大学の林信太郎教授による講演やパネルディスカッション、分科会などが行われました。

今回の全国大会は日本ジオパークが活動を開始してから10年という節目の年になります。そこで、閉会セレモニーではそれぞれの分科会で議論された「これから先の10年に向けて、ジオパークとその目的である地域振興に必要なもの」について宣言されました。

また、閉会セレモニーの後、秋田県内の4つのジオパークを巡る9つのツアーが催行されました。参加者はガイドの案内で各地の特徴的な地形や自然、伝統文化を堪能しました。八峰白神ジオパークでは、ツアー「白神の神秘を巡る」白瀑神社と十二湖めぐり」を催行し、全国から38名が参加しました。

## ツアー「白神の神秘を巡る」

このツアーは、1泊2日で八峰町と青森県深浦町の見どころを巡りました。地すべりによって形成された十二湖や秋田県の天然記念物に指定された樺海岸の柱状節理、そして地形が信仰に関わる白瀑神社を巡るツアーです。宿泊したあきた白神温泉ホテルでは交流会を開催し、茂浦民謡同好会による伝統芸能を披露しました。このツアーは白神山地の形成と、その大地で生活する人びとの暮らしを体感できるのが特徴です。

また、白瀑神社では能代高校の科学部の生徒がガイドを務め、自分たちで調べた情報をもとに参加者を案内しました。



白瀑神社を案内する能代高校生たち。

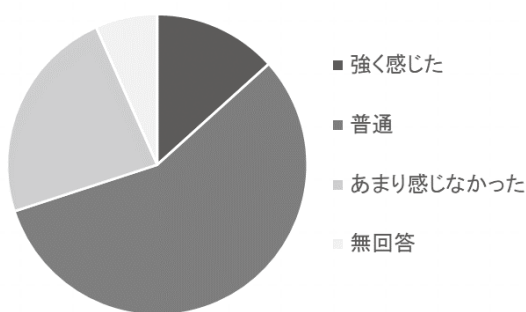
## ツアー参加者の感想

ツアー参加者にアンケートを取り、38人中30人の回答を得ました。アンケート結果の一部を紹介します。

まず、「なぜこのツアーに参加したか」(自由記述)の設問では、全体の60%が「白神山地」もしくは「ブナ林」を目的に挙げました。

「ツアーのコース設定にストーリー性を感じたか?」という設問では、強く感じた13%、普通56%、あまり感じなかった23%という結果になりました。(左図)

コース設定にストーリー性を感じたか



また、ツアーに参加した感想・意見として以下のようなものがありました。

- ・自分の地域にもブナ林があり、ガイドがどんな説明をするのか興味があったので参加した。能代高校生のガイドに新鮮さを感じた。
- ・「柱状節理」など普段親しみのない言葉に関して、より分かりやすい解説が必要だと感じた。
- ・能代高校生の説明がポイントを押さえていて分かりやすかった。地元の子どもたちを巻き込んだ活動が大切だと思う。
- ・サイトは魅力のある場所ばかりだったので、きちんとストーリーを構築すれば素晴らしいジオパークになるのではないかと感じた。

今回のツアーの反省点を改善し、今後のジオパーク活動に活かしていきたいと思えます。

八峰白神ジオパーク推進協議会

地域おこし協力隊 三輪 拓磨

〒018-2632

秋田県山本郡八峰町八森字三十釜一四四一

ぶなっこランド内

TEL 0185-77-3086